

「新発田市こども条例（仮称）」をつくるためのアンケート（施設の方）

1. 目的

各設問について、こどもたちが現在どのような認識を持っているかを把握するため。

また、大人やこどもが通う各施設における、こどもに関する課題等に対する考え方も併せて把握することで、「新発田市こども条例（仮称）」の制定資料の参考とするため

2. 対象者

3. 回答期間 令和6年6月14日（金）～令和6年6月30日（日）

4. 実施方法 無記名アンケート方式により、市が施設にアンケート用紙を配布・インターネットによる回収し、集計した

5. 回答状況

	全体
回答数	24
配布数	81
回答率	29.6%

問1 貴施設の所属について教えてください。

保育所	幼稚園	認定こども園	小学校	中学校	高等学校	大学、専門学校	放課後等デイサービス事業所	その他
8	0	4	0	4	0	1	4	3

問2 あなたは、「子どもの権利」について知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

	全体	保育所	認定こども園	中学校	大学、専門学校	放課後等デイサービス事業所	その他
内容までよく知っている	6	3	0	3	0	0	0
内容について少し知っている	15	4	4	0	1	3	3
聞いたことはあるが、内容は知らない	2	0	0	1	0	1	0
聞いたことがない	1	1	0	0	0	0	0

（回答割合）

	全体	保育所	認定こども園	中学校	大学、専門学校	放課後等デイサービス事業所	その他
内容までよく知っている	25.0%	37.5%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内容について少し知っている	62.5%	50.0%	100.0%	0.0%	100.0%	75.0%	100.0%
聞いたことはあるが、内容は知らない	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%
聞いたことがない	4.2%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問3 子どもの権利について、貴施設では守られていると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

	全体	保育所	認定こども園	中学校	大学、専門学校	放課後等デイサービス事業所	その他
守られている	24	8	4	4	1	4	3
守られていない	0	0	0	0	0	0	0

（回答割合）

	全体	保育所	認定こども園	中学校	大学、専門学校	放課後等デイサービス事業所	その他
守られている	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
守られていない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問4 貴施設では、運営について利用する子どもからの意見を取り入れていますか。

	全体	保育所	認定こども園	中学校	大学、専門学校	放課後等デイサービス事業所	その他
意見聴取の方法を整備しており、施設の運営に活かしている	5	0	1	1	1	2	0
意見聴取の方法は整備していないが、意見があれば積極的に取り入れている	16	6	3	3	0	2	2
意見聴取の方法は整備しておらず、意見を取り入れる必要を感じない	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	2	0	0	0	0	1

その他の意見

- ・当園に通っている子は乳幼児なので、何をして遊びたいか、どこへ散歩に行きたいかなど子どもたちの声を聴くことを大切にしながら保育
- ・意見を話せる年齢ではありませんが、「やりたい事」ができるよう、安全を確保しながら、日々職員が試行錯誤しています。
- ・当施設の対象児の年齢が低く、子どもからの意見を取り入れることが難しい

（回答割合）

	全体	保育所	認定こども園	中学校	大学、専門学校	放課後等デイサービス事業所	その他
意見聴取の方法を整備しており、施設の運営に活かしている	20.8%	0.0%	25.0%	25.0%	100.0%	50.0%	0.0%
意見聴取の方法は整備していないが、意見があれば積極的に取り入れている	66.7%	75.0%	75.0%	75.0%	0.0%	50.0%	66.7%
意見聴取の方法は整備しておらず、意見を取り入れる必要を感じない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

問5 貴施設の児童・生徒について、良い点や気になる点など、普段感じていることを教えてください。（自由記入）

問6 子どもの権利が守られることに関して、期待することは何ですか。また、保育・教育現場において問題になりえることはありますか。

問7 いじめの早期発見・未然防止を図るために、どのような取組をしていますか。また、どのような取組が必要だと思いますか。（自由記入）

問8 子どもたちが健やかに成長し、自立できる社会を実現するためには家庭や地域との連携が不可欠ですが、必要な連携や支援はどのようなものですか。また、連携する際の問題点などはありますか。（自由記入）

問9 子どもたちが健やかに成長し、自立できる社会を実現するためには家庭や地域との連携が不可欠ですが、必要な連携や支援はどのようなものですか。

問10 これからの社会を生きる子どもたちに求められるものは何だと思いますか。

問11 「新発田市子ども条例（仮称）」全般についてのご意見をご記入ください。

問5 貴施設の児童・生徒について、良い点や気になる点など、普段感じていることを教えてください。

少人数の保育のため、児童とのかかわりが密になりじっくりとかわることができる。 異年齢でのかかわりも多いので、上の子は下の子のできないことを進んで手伝ってくれる。また、下の子は上の子の遊ぶ様子、食べる様子などを真似してできることも増えている。お互いが刺激しあえる良い関係がたもっている。
普段は認可園に通っていて、月に数回の利用の子がほとんどなので、利用時には児童の体調面、性格面などにも配慮しながらケガや事故のないようお預かりしている。前の利用から1カ月ぐらい間隔が空いてしまう場合もあると、できなかったことができるようになっていて(言葉が増えた、歩けなかった子が歩けるようになっていて、いろいろなことに興味がでてきて動きが活発になった…など)成長面でも把握しないといけないことがあるので、保護者様から様子をお聞きし、職員間で共有しながら安全に保育を行っている。
概ね健やかであるが、栄養状態が気になる子や、持ち物のたばこ臭が強く、受動喫煙が心配な子がいる。
保護者が就労と子育てを両立する状況において、家庭で親子のコミュニケーションがうまくとれているか、また忙しい環境の中で子育てが苦痛またはおそろしくなっていないかと感じることがある。
明るく前向きな生徒が多い。
部活動に熱中するなど、若い時期に取り組んでほしい体験に挑戦する生徒が多い。
家庭環境が複雑な家庭が増えている。
家庭環境に課題があるが、それを言えずに我慢している生徒が少なからずいる。学校ができることは限られており、関係機関との連携の重要性を痛感している。
良い点 家族に愛されて育っている子が多い
気になる点 生活習慣が身につけていない子が多い 人との関わりにおいて月齢よりも幼さを感じる
素直で、前向きな生徒が多く、授業や生徒会活動へは意欲的に参加している。 一方で、不登校傾向の生徒が全校生徒の1割程度おり、その解消に向けた取り組みが急務である。
良い点:さまざまなことに興味をもつ。
気になる点:発達が気になる子どもが多い。
自分の考えや思うことを、みんなに伝えることができる、ことは素晴らしいです。それに対して、マイナス的なことを言う子も中にはいます。その子の心の中にあるものを良い方向に向けてあげることが、園だけではなく保護者または家庭の協力が必要。
したい事、したくない事を伝えられる事は、いい点です。 気になる事は、十分に保護者と関わっているかどうか。 不安定なお子さんが増えています。
ひとりひとり違った特性を持ち、それが支援者が羨むような素晴らしいものであることも多い。こどもたちは周りの環境によって大きな影響を受けるため、狭い空間で過ごす短時間をより快適なものにするため、支援者はこどもと向き合う時間を十分確保し、心の通う関係づくりをしていかなければならない。
良い点 元気なお子さんが多く、学校行事、学習や作業学習等を日々頑張っている。
気になる点 少数ではあるが、SNSのトラブルがある。また、YouTubeの視聴で生活リズムをくずしている子もいる 子どもが健やかに育つために、保護者が日々悩んだり、楽しんだりしながら育児している
障がいがあっても、放課後を楽しんでもらいたい、その中で5領域にそった支援が行いたいという思いのもと、支援を行っている。まず子ども達が安心して過ごせるよう、ご本人、保護者とお話させて頂き、場の提案、送迎時での情報提供、情報共有を行い、その中で子ども達も楽しみに来てくれている。学校にちょっと行きたくなくても、放課後等デイサービスに行きたいから頑張る等、頑張れる力にはなれているのかなと感じている。
放デイを利用したいが空きがなく、困っていると言う話をよく聞きます。

問6 子どもの権利が守られることに関して、期待することは何ですか。また、保育・教育現場において問題になりえることはありますか。（自由記入）

児童一人ひとりがのびのびと生活し、自分の思いを出せること。 児童だけでなく、大人も幸せになれる環境ができる。 まず、大人が幸せにならないと始まらない。だから大人の声もしっかり聴いてほしい。
障がいのある子どもへの理解、関心が向けられる機会が増えることを期待する。
保育士の人数は足りてはいるが、子育て中の保育士が多く、子どもが熱をだして休みをとったり、育休をとる職員も多く日々の保育が足りない状況がある。こどもの休みもいるので何とか回しているが、職員が足りなくて1対3で保育できない日もあり負担になることもある。
子どもたちにとって一番いいことは何かを考え、一人一人と丁寧に向き合う体制づくりを強化していくこと
権利を正しく理解せず、過剰かつ不適切な要求になってしまうこと。
子どもたちが安心して毎日を過ごせる家庭環境が大事。暴力はもちろんだが、ネグレクトなどもなくしていかないと、子どもが意欲をもって安心して頑張れない。
生徒とのより良い関係構築を図り、生徒が素直に自己表現できる雰囲気醸成すること。加えて生徒の思いに寄り添い共に考え成長していく風土土壌づくりを進めること。
自己肯定の安定園だけではなく、その子を取り巻く大人との関わりも重要になってくる
期待する事 自身がありのままで良い事が分かり、他者に対しても認める心が育つ事。 その延長には、偏見やいじめが減る事、いじめを乗り越えていく力がつく事を期待します。
問題点 安全を大事にすると、どうしても集団で過ごす事が増え、個人の希望が叶いにくくなる事。 特に保育の現場は、まだ自制が効かない子がほとんどです。人手がなければ、集団に押し込める事が増えると思います。 そこに入れない子が「気になる子」になる事が現実です。
自分の思いや気持ちを人に伝えることができるようになるために子どもたちに支援できればとおもいます
安心して学校に通えること。
こどもの権利が守られて、すべての子どもが健やかに育っていくのを親だけでなく色々な大人が見守れること

問7 児童虐待の早期発見・未然防止を図るために、どのような取組をしていますか。また、どのような取組が必要だと思いますか。（自由記入）

登園時、おむつ交換時に児童の視診を行っている。 →傷やあざなどがあった場合はすぐに保護者様に確認するようにしている。 見ていなかった… 気づかなかった… 知らないうちにできていた…などの言葉がよく聞かれる。忙しい保護者の気持ちを受け止めながらも、大きな事故につながらないように目を離さないようにしてほしいことを伝えている。 普段から保護者様とコミュニケーションを多くとるようにし、何でも話しやすい関係づくりを心がけている。会話を増やすことで普段とは違う保護者様の様子や親子関係などにいちはやく気づけるようにしている。また、言葉の暴力やネグレクトなどの虐待にも気をつけながら保育している。ちょっと様子がおかしいな…と思うことがあれば、園の職員や上司、委託元様へ相談するようにしている。 仕事で疲れてお迎えにくる保護者様にはできるだけお子さんの成長した姿を伝え、喜びを共有しながらほっとできるような場を提供するようにしている。育児を頑張っている保護者様を認め、ほめることで育児に対して意欲的に取り組めるようかかわっている。
施設外の虐待に関しては、トイレ介助、更衣、入浴等の際に体の傷やあざなどを確認する。表情の観察や、体重の推移などにも気を配る。保護者への声掛け、心のケア、相談。 施設内の虐待に関しては、職員の研修。1対1、密室での支援を避ける。職員同士のコミュニケーション。開かれた施設を意識する。
保護者とのコミュニケーションが大事で日々の会話の中から保護者の内面を探り、困っていることはないか、いつもと違う様子はないかなどよくみていき話しかけていく。 生活リズムはどうか、食事はとれているか、こどもの様子で何かきになることはないかなど、担任が把握をして主任園長と情報の共有をしていく。主任園長も保護者と常に話をして声をかけています。
家庭での様子を面談等で確認しつつ、子どもとの会話の中で一致しない点があった場合、再確認をする。
相談体制の充実を図り、生徒の困り感に早く気づくこと。
定期的に全校生徒にアンケートを取り、アンケート実施後はその日のうちに内容を確認し、必要な対応をしている。 その他にも、日常の会話や観察、生活ノートの記述などからも、様々な情報を得るようにしている。
園児に虐待が疑われるような事があれば保育園の役割として園から保護者に確認することをあらかじめお知らせしておく それは園児とその家族を支援する為であることを付け加える 全職員に 不審なあざ、傷を見つけた 何日も同じ服を着ている 入浴していない などに気づいたら上司に報告することを徹底している 園で支援が必要な園児がいたら 1人に任せるのではなく組織で対応する
子どもの体の様子や態度、言動など様々なことから、いつもと違う様子がないかを確認している。
当たり前のことですが… 生徒の様子の変化をよく見とり、変化に気付いたら声をかけること。 声かけや相談内容をすぐに関係者と共有し、学校全体として組織的な対応を進めること。
定期的な教育相談を実施し、教職員が生徒の思いに寄り添い、何かあれば共に考えていく姿勢を持つこと。 出産前の保護者教育 虐待にならないための、子との関わり方 敷居の低い相談室

毎日の子どもの視診はもちろん、保護者のメンタルケアにも力を入れています。 新発田市は、公立も私立も関係なく、リフレッシュで子どもを預かる事に厳しいと聞きます。 園に仕事だと嘘をついてまで預ける方もおられます。 子どもの心身が穏やかな状態であるなら、親のリフレッシュでも預かれる体制を作ってあげる事が、虐待を防ぐ事につながると思います。 その為には、処遇改善や人員確保、事務軽減が欠かせません。 職員による、虐待も防ぎたいです。しかし、まだ古い考えの方も多いです。全部食べる事が良い事。みんな一緒じゃないとダメ。など、園内研修を通して今までの関わり方を見直す時間を設けています。
子どもたちとの共有の場、送迎時において、職員との些細な言動から学校や友達とのかかわりについて気付くことが必要だと思います。
そして、自宅または学校ではないところでの心のよりどころとして良い雰囲気できなくてはならないと思います。
子どもにアンケートを実施したり、日々子どもの様子を観察しながら、定期的に教育相談している。
日々、子どもの様子を確認しています。保護者とのコミュニケーション、関わりが重要と考えて声がけをしています。
児童相談所、教育委員会等と連携することや、学校内の職員でしっかりと情報共有をして、子どもたちと関わる事が大切だと思う。
保護者の対して、相談しやすい関係性づくりをおこない未然防止を図る
ご家族、ご本人と日頃から関われる事で、そもそもさせないという抑止力になるのではと思うので、事業所をご利用いただくことは防止策になっていると思う。
普段と違う様子があれば関係機関に情報共有させてもらっています。点で終わらずに線で繋がっていけるような関係が必要だと思います。
毎朝の受け入れ時に視診をしながら、保護者や子どもと挨拶を交わしている。 保護者や子どもの表情の変化を見落さないようにしている。 また、遊びの中で子どもが話す言葉の中から疑問を感じるワード等ないかなど、気をつけている。

問8 いじめの早期発見・未然防止を図るために、どのような取り組みをしていますか。また、どのような取組が必要だと思いますか。（自由記入）

利用児の年齢が低いために、いじめまでにはいかないが、嫌なことをされたトラブルなどを避けるために児童たちの行動や友だちとのかかわり方などの見守りをしている。必要に応じて仲立ちをし、かかわり方を知らせている。必ず保護者様へもあったことを周知し、今後の対応などを伝えて安心して利用できるようにしている。
虐待と同様におかしいなと感じたことがあれば、すぐに職員間で共有、相談している。
子ども同士のケンカがいじめにならないようによくみながらその都度対応している。5歳児くらいになると担任のみでいないところで相手をきずつけてしまう言葉の言ったりする場合があるため、子どもになげかけながらどんな言葉がいいかな、とこどもに考えさせる機会をつくっている。
早期発見のために、日頃から保育者と子どもたち、また保護者との信頼関係の構築に努める。いじめは大人が気づきにくいところで行われがちなので、保育者が小さな変化を敏感に察知するとともに、見逃さない姿勢を向上させる必
組織内の情報共有を行い、予防や対応、対策をチームで行うこと。
事実をしっかりと聞き取り、具体的な対応策を講じるよう努めること。
小さいいじめの芽を見逃さず、ちょっとした違和感を感じた時点で情報共有するように心がけている。
いじめの疑いがある時点で組織で対応している。
園内で疑わしい案件の情報共有をする
クラスを越えてどの職員でも同じ対応ができるように
相手の気持ちに気付けるような声掛けや援助を心掛けたり、子供同士の関わりの中でトラブルがあった際には、相手の思いを丁寧に知らせるようにしている。
定期的な教育相談を実施し、教職員が生徒の思いに寄り添い、何かあれば共に考え解決を図っている。
計画的に異学年交流会（絆づくり集会、体育祭等）を実施し、多種多様な考えに触れる活動を実施。
各種行事で生徒の主体性を高めるため、自己決定場面また、振り返りの場を意図的に設定し、「自己有用感、肯定感」を育成している。
教師と保護者との信頼関係
保護者は学校を選べない（就学前とは違う）ので、何でも言える関係が築けると良い
いじめは、している事ではないが、あるもの。 「悪」にするからどんどん見つけにくくなるのでは？ もし、いじめが起きた時は、チャンスだと思います。 なぜそのいじめが起きたか、どうしたら良かったかを子ども、教育者、保護者、地域が話し合って決めていく。そのつながりで、よりよい地域にしていけばよいと思います。 最近のいじめは、発見しにくいと聞きます。 早期発見するには、保護者が子どもとのコミュニケーションが取れる、教育者が子どもとのコミュニケーションが取れるような支援が必要だと思います。 保護者や先生にも余裕が必要です。 自園では、いい事も悪い事も伝える事ができる事を大事にしています。
子どもたちとの共有の場、送迎時において、職員との些細な言動から学校や友達とのかかわりについて気付くことが必要だと思います。
そして、自宅または学校ではないところでの心のよりどころとして良い雰囲気ではなくてはならないと思います。
アンケート。
子どもに対して丁寧に接している。
いじめに関するアンケートの実施。（毎月）
生徒と学級担任との生活記録ノートのやりとり。（毎日）
心の教育を目的とした、校長講和、外部から講師を招いて「生き方」講演会の実施。
生徒の自己肯定感、自己有用感を高めるための、特別活動の実施。
CAPの実施。
色々な個性の形があることを知る
修身のような、人を大事にする学習をやるべきではないかと思う。
子供たちの様子を常に見守ります。まだ、どこからがいじめになるのかなにがいじめなのか、SSTなどを通じて伝えていきます。
出来るだけ死角を作らないような環境を整えている。
また、子どもたちの表情ををよく見ている。

問9 子どもたちが健やかに成長し、自立できる社会を実現するためには家庭や地域との連携が不可欠であります が、必要な連携や支援はどのようなものですか。また、連携する際の問題点などはありますか。
子どもも親も楽しめる場所作り。 乳幼児の遊び場はあるが、小、中、高校生などが集まれる場などがないように感じる。 イクネスなどのように誰でも、どの年代でも気軽に集まれる場がたくさんあれば、いろいろな人とのかかわりも増え、 人とつながる楽しさなどを感じることができるのではと思う。 家から出て、公共の場に行ける人もいれば、困っている、悩んでいる、助けてほしい…と思っていても家から出ることができず一人で悩んでいる人もなかにはいると思う。そのような人たちの声こそ聴かなければいけないと思うので、聴くための方法も考える必要があると感じた。 未就学児などの検診の集まりはあるが小学校以降はほとんどない。小学校以降になると子どもも親も悩みが増えるように感じる。 子育てしている家庭を孤立化させないようにしてほしい。
障害福祉サービス利用者は、相談支援専門員による、定期的なモニタリングや担当者会議等で、本人、保護者、学校、事業所、主治医等との連携が行われている。普通学校においても、課題が出る前からこのような機能があると良い。
今の親御さんは余裕がなかったり、祖父母にたよるのを嫌がったりと自己中心的な考えの方が多いように思う。 保育園だけではかかえきれないところもあり、新発田市の子ども家庭相談員との連携がとれているため心強い。
家庭内の事情に入り込みすぎないように留意し、保護者の困り感を読み取れるよう、こまめに情報交換共有できる関係性を作っておく必要がある。
各家庭の状況も複雑化しており、なかなかコミュニケーションをとることができない家庭もあること。
家庭環境については、地域での見守り体制の強化が重要だと思う。 また、その情報を関係者が速やかに共有できるシステムが必要。市としては是非対策を講じてほしい。
大人の都合に合わせた生活時間ではなく子どもが子どもらしい生活を送ること 愛情と甘やかし、自由と放任を間違えて捉えている保護者がいること
保護者支援が必要 子育てをしつつ、自分の時間も確保したい大人が多いので両立できるような環境が必要
子どもが行きたい学校を選べる事は必要かと思います。 学区にこだわり過ぎず、「選べる」事で自立へ迎えると思います。 その際には、学校同士や市役所との繋がりが大事だと思います。 日本のエスカレーター式の進級制度も見直しが必要な時かと思います。 力のある子はどんどん進めばいいし、ゆっくり学ぶ事で身につく子もいます。 年齢で括る価値はどこにあるのでしょうか？ 「みんなで気持ちいい」は自然と起こる事。誰かに決められた中での「みんな」は苦しいだけです。 フリースクールの充実もお願いしたいです。 空いている保育園を開放するなど、いくらでも場所は確保出来ると思います。それぞれの施設がつながりながら、運営できたら、子どもは幸せだと思います。
家庭との連絡帳のやりとり、支援事業所の相談員さんとの電話連絡、学校の先生との送迎時、または電話の連絡等、子どもたちの気持ちや状況は日々変化するため、今度やいつかまとめてではなく、タイムリーに連携することが必要であると思います。
今後、必要と感じているのは、気になる家庭への訪問活動や災害時の時、必要な支援がどの家庭にもできる体制づくりです。

保護者の方との連携 育成協議会との連携
連携を取ったり必要な支援を届けるために、関係機関同士を繋ぐ役目をする人が必要。 子どもたちが安心安全に発言したり活動をおこなえる場所の提供。
事業所で連携は日頃から電話等でできます。対面は業務があるので難しいです。あとは大人が子どもの為に、どこまで手を出さず見守れるか、その加減等の明確な議題があり、それを擦り合われる等の共有は会議等の方が効率的だな 密に連絡を取り合うこと。また、情報を共有する機会を持つこと。

問10 これからの社会を生きる子どもたちに求められるものは何だと思いますか。
コミュニケーション能力 生きる力 忍耐力、継続力 適応能力 自分を認めて好きになる(自己肯定感をもつ) 家に閉じこもり、ゲームなどをして過ごす子が増えているように感じる。そうすると何かに失敗する体験や友達とけんかをしてぶつかる経験なども減っていく。いろいろな経験をしていないと、これから先、嫌なことや困ること、つまずくことがあっても対応できず逃げ出して終わってしまうような気がする。 外へ出てのびのびと遊び、自分のやりたいことにどんどん挑戦できる環境があったらよいと感じる。 身近な大人(家族)とのかかわりの中で、楽しい、嬉しい、ほっとする、自分は愛されている…などの気持ちを感じる経験をたくさんしないと社会に出て他の人といういろいろな場面においてかかわることが難しいと思う。なので小さいころからの環境はとっても大事だと思う。だからこそ、乳幼児を預かる施設で勤務している以上は、その大切さなどを少しでも保護者の皆様に知ってもらえるよう伝えていく責任があると感じている。
生きる力。基本的な学力を得たうえで、他者を認め多様な人々と助け合って生きるためのコミュニケーション能力。
親の愛情が何より大事だが、こどもにかかわる保育園の役割はとても大きくどんなこどもにも自分は愛されているんだ、大事な存在なんだと自己肯定感の高いこどもに育つために日々保育にあたっている。 思考力想像力をどんどん養って成長してほしい。失敗することや思い通りにならないことがあった時には問題解決能力も身に付けていけるよう育っていけると良い。
主体的、協働的に課題を解決していく実践力 他者を意識した判断力やコミュニケーション能力 集めた情報を自ら精査する力
いろいろな人の力を借りながら、課題を自分で解決する意欲。
予想外に起こる自然災害、あふれるばかりの高度な情報、一人一人を大切にする多様な価値観の中、だからこそ他者を思う思いやり、思った通りにならなくても周りと助け合って乗り越えようとするための力 人と関わる力が大切かと思う
非認知能力。自分で考えて動く力や、忍耐力、多少のストレスに負けない力や、挑戦しようという気持ちなど。またコミュニケーション能力も大切と思う。(自分の思いを表現する、伝える、相手の話を聞く、理解する)
先入観にとらわれない発想力や、様々な情報を精査判断し、まとめる力
心と身体の柔軟性
情報が多く入るため、自分に必要な事を「選ぶチカラ」だと思います。 選ぶためには、自分との対話が大事で、「やりたいか、やりたくないか」で選べるようになってほしいです。 「やらなければならない」で行った事は、身につくチカラ、パフォーマンスに限界があります。 好きこそ物の上手なれ。です。 その為に我々大人が楽しく生きる姿を見せてあげたり、選べる場所を増やしてあげたりしたいです。
たくましく生きる力
困難に立ち向かう力、SOSを出せる力、他者を大切に人を傷つけない人。

自ら課題を見つけて、努力する力 困難に直面しても、あきらめない精神、仲間と協力して解決していく力 他人に対する優しい心、感謝の心
協力したり、話し合いで自分の意見を伝えられる力
自分で生きる、自己覚知ができ、できないことは助けてと言える、ありがとうと言える、そんな人間になれることだと思います。
情報社会になって行く中で、メリットデメリットをきちんと理解すること。
自分で考える力 善悪を判断できる力 コミュニケーション 困ったら伝えられる…そして伝える事ができる環境

問11 「新発田市子ども条例（仮称）」全般についてのご意見をご記入ください。
子どもたちのために取り組み、動き始めようとしているのはとても素晴らしいことだと感じた。 一人でも多くの意見を聴き、新しい条例を作っていただきたい。 このようなアンケートもたくさんの人の意見が聴けるので良いと思うが、実際に子どもたちや大人、教育関係者などと会い、対面して生の声を聴く時間も作れたら良いと感じた。
学校が抱える課題の多くは、家庭環境や生育歴から来るものであるのが現実と感じている。子どもたちが安心して安全に生活していける環境を整えることは、未来を担う人材育成に不可欠。大人の責任で、社会全体で環境を整えなければならない。
市民に正確に知って頂きたい
自分の子どもではない身近な子どもに対して全員で関わられるような取り組みであれば大丈夫です
条例という固いイメージだが、わかりやすく身近なものになるといいです。